



↑絵画と陶器を寄贈した別府さん（右）

感謝の気持ちを込めて

町に絵画と陶器寄贈

出水市野田町の別府威徳さん（白社会会友、日本工芸会正会員）が6月29日、長島町役場町長室を訪れ、町に絵画と陶器を寄贈されました。

今回、寄贈されたのはいずれも別府さんの作品で、第58回白社会記念展に出展した絵画「待春」と陶器「抜絵草文壺」です。別府さんは「長島がスタートの地。お世話になった気持ちを込めて贈ります」と川添町長に作品を手渡しました。

別府さんは、鷹巣中学校を初任地として長年、美術教諭を務められ、退職後は鷹巣でギャラリーを開いています。

今回贈られた作品2点は、長島町役場町長室に飾られています。

↓紅あづまの苗を手植えする組合同員



健康づくりをお手伝いします

食生活改善推進員による料理教室

長島町食生活改善推進員は高齢者学級「上揚福揚大学」を対象に6月11日、上揚公民館で『男性の健康料理教室』を開きました。同推進員は、「親子の食育教室」「『郷土の味』普及の料理教室」「高齢者ハツラツ料理教室」などを開いて、食生活の面から健康づくりのお手伝いをしています。

この日は、同推進員が講師となり、男性10人を含む参加者22人にグリーンピースごはんやさやえんどう味噌汁などの健康レシピを紹介しました。

同推進員による料理教室の開催を希望されるかたは、事務局の役場保健衛生課（Tel（86）1111 内線1110）へご連絡ください。



↑食生活改善推進員の指導を受け、男性が料理づくりに挑戦

多 彩な仕掛けで泊り客増やす

ホテル旅館組合がサツマイモ作付け

自分たちでつくったものをプレゼントしたい。長島地区ホテル旅館組合は6月16日、組合同員8人が蔵之元の畑約20畝にサツマイモを作付けしました。

これは、町のイベントが目白押しとなる今秋、宿泊者にサツマイモを無料で提供し、宿泊客の増を図ろうと企画されたもので、紅あづまの苗7千本が植えつけられました。

同組合の竹之内重信組合長は「人が集まっても泊り客を見過ぎてきた。いろいろな仕掛けでお客を増やしたい」と話していました。